

## 『令和5年度SSH海外研修（ベトナム）』を実施しました

今年度のSSH海外研修（ベトナム）が令和6年1月6日（土）から1月11日（木）にかけ、ベトナムホーチミン市で実施されました。参加者は選考で選ばれた2年生徒6名（男子4名女子2名）で、引率教員2名（男女1名ずつ）の計8名が渡越しました。

出発4日前の1月2日に発生した羽田空港での航空機事故により、青森空港からの出発を前倒し為ざるを得ませんでした。前倒しでできた時間を国立科学博物館の見学に充てる等、有意義に過ごすことができたのは幸いでした。

1月7日（日）1:30発のベトナム行きに搭乗し、5:50にホーチミン空港に到着した後、夏仕様の服装に着替え、カンザー国立公園に向かいました。手こぎボートに乗りながら再生マングローブ林とそこに生息する野生生物を観察し、バイオーム「亜熱帯雨林」を体感してきました。

1月8日（月）はベトナム国立大学高校、1月9日（火）はベトナム国家大学ホーチミン市天然環境資源大学、1月10日（水）はベトナム国家大学ホーチミン市工科大学をそれぞれ訪問し、学校紹介、研究発表、キャンパスツアー、交流活動を通じて、相互理解に努めました。特に生徒たちは、研究成果への質擬応答の際にコミュニケーション能力不足を痛感し、今後の英語学習に向けての意欲が喚起されたようでした。しかし、発表機会を重ねる毎に堂々としてきた生徒の発表態度や、もの物怖じせず笑顔でしっかりと学生たちと交流できるようになってきた生徒の姿を見ていると、この海外研修の体験が生徒一人ひとりに如何に大きな変容をもたらしているのかを、実感した次第です。

なお、今回の研修では、企業体験研修として本校OBである神慶太社長が経営されている金八神漁網株式会社ヴィネックス工場、及び本校OB沢田教一カメラマンの「安全への逃避」が展示されている戦争証跡博物館を訪問しました。仕事に没入しているベトナム人の勤勉さ、及びベトナム国家が抱える負の遺産について深く認識する機会となりました。

1月10日（水）23:40発羽田空港行きで帰国し、羽田空港で国内線に乗り換え、1月11日（木）10:55に青森空港に到着し、旅行団を解散いたしました。

短い期間ではありましたが、生徒たちは密度の濃い経験を重ねてきたものと感じています。この経験が、参加した生徒自身の考え方や行動に生かされ、自己が持っている可能性を高めることに繋がっていくことを期待したいと思います。

発表会の様子

1/6 出発式（高橋校長激励挨拶）



1/6 国立科学博物館



1/6 出発ロビー



1/7 カンザー国立公園



1/7(カンザー)展望台



1/7(カンザー)マングローブ林



1/8 ベトナム国立大学高校



1/8 (高校) 研究発表



1/8 (高校) 友情の絆



1/8 金八神漁ヴィネックス工場



1/8 (金八巡漁網) 神社長と工員



1/8 (金八神漁網) 記念撮影



1/9 天然資源大学 (HCMUNRE)



1/9 (HCMUNRE) 折り紙



1/9 (HCMUNRE) 環境測定装置



1/10 工科大学 (HCMUT) 発表



1/10(HCMUT) Paper Tower



1/10 (HCMUT) 交流前自己紹介



1/10 戦争記念博物館



1/10 サイゴン中央郵便局

